

NPO 法人 都市災害に備える技術者の会

ニューズレター issue 47



都市災害に備える技術者の会事務局：〒651-1432 兵庫県西宮市すみれ台3-1（太田ジオリサーチ内）
TEL:078-907-3120 FAX: 078-907-3123 e-mail: office@toshisaigai.net http://www.toshisaigai.net

発災後の活動に関するアンケート結果 (2017年5月8日現在) 北 高穂 会員

本年1月末から会員の皆様にご協力をお願いしていました発災後の活動に関するアンケートについて、平成29年4月末時点で17名の会員から回答を頂きました。現時点の会員数が45名ですので、回答率40%弱と多くの基礎データが得られました。得られました会員のご意見と専門性や資格などについては、今後の活動のデータベースとさせていただきます。また、会員の特徴を基にした社会貢献について、検討していきたいと考えています。

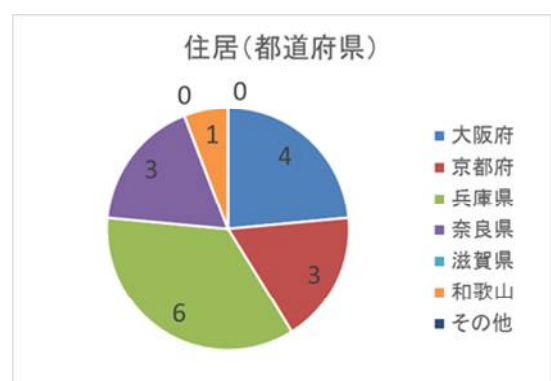
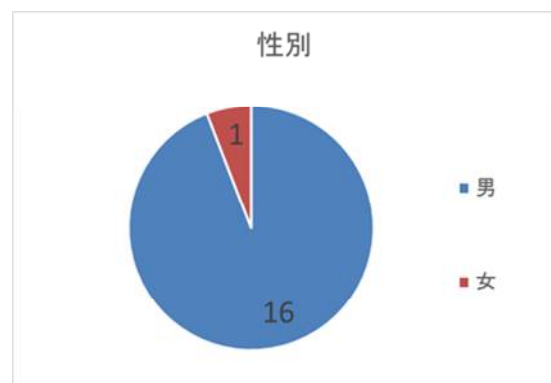
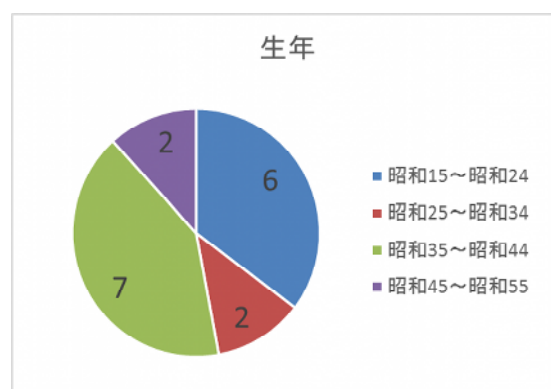
なお、アンケートの回答は、まだ受け付けていますので、未回答の会員様にはアンケートの事務局への送付をお願い申し上げます。

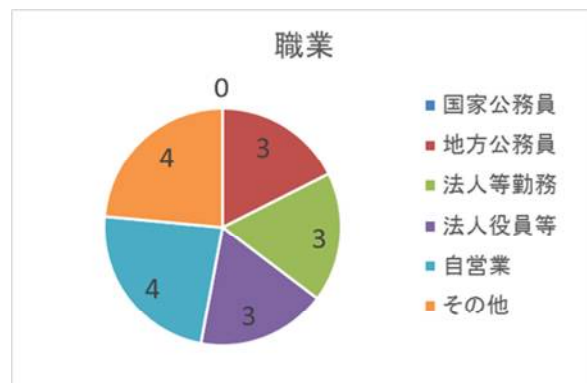
以下で、アンケート結果の概要についてご紹介いたします。

1. 回答者の基本構成

生年、性別、住居、入会年という回答者の基本構成については、以下の傾向があります

- ア) 生年で昭和35年～44年、すなわち年齢40代半ば～50代半ばの働き盛りの回答者が最も多く、次に年齢60代半ば～70半（生年、昭和15年～24年）の定年後の回答者が多い。
- イ) 性別では、女性が1名だけで、圧倒的に男性が多い。
- ウ) 住居では、滋賀県以外の近畿圏で占められている。
- エ) 入会年は、NPO発足から数年内（平成15年～19年）と近年入会（平成25年以降）の回答者に大別され、近年の活動の活性化が伺える。





2. 専門性

職業と専門性に関する質問では、以下のように本 NPO が「技術者の会」であることを色濃く反映しています。

オ) 職業は、国家公務員の方はいないが、地方公務員、会社・法人等勤務、法人役員等、自営業者など多岐に渡っており偏りは少ない。

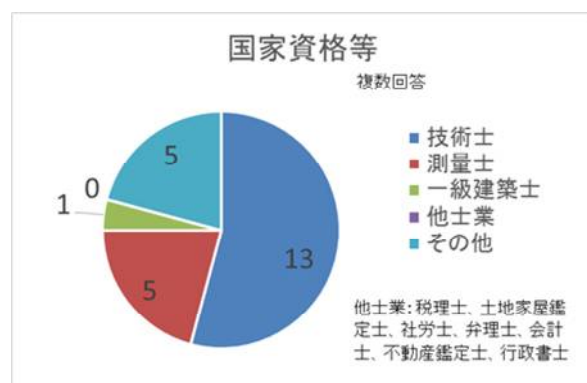
カ) 専門領域は、土木（建設）関係の技術者が圧倒的に多い。建築が2名、行政、福祉、情報と記載された方が各1名である。

キ) 資格は技術士が多く、測量士が次いで多く、1級建築士が1名で、その他の士業は不在である。

なお、技術士の登録部門は、建設、応用理学、総合技術監理、上下水道、森林、電気電子が挙げられている。

その他としては、1級土木施工管理士、1級工事施工管理士、1級建築施工管理士、コンクリート診断士、土地区画整理士、港湾海洋調査士、造園施工管理技士、1級陸上無線技術士、電気通信主任技術者、1級電気工事施工管理技士といった資格が記載されている。

また、防災士や被災宅地危険度判定士といった災害と直接関わる資格を有している回答者が多数いる。さらに、僧侶や車椅子使用当事者としての視点を兼ねられている方も在籍している。さらには、CAD 利用技術者 1 級、実用英語検定準 1 級など所有資格や得意とする項目は多岐にわたる。



3. 今後の活動

以下のように、発災後の活動については、より積極的な推進よりも、これまでの活動を軸に緩やかに推進することを希望される回答者が殆ど、発災後の活動に否定的な意見は無いようです。

積極的に推進するという意見が少ない背景には、当 NPO が事前の備えに重点を置いた活動を行ってきていることに加え、発災後の活動に参加するための時間的制約が多いことがあると思われます。

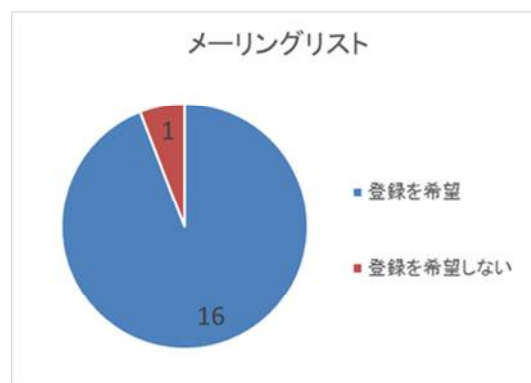
ク) 発災後活動の方向性については、「活動範囲を徐々に拡大したい」と「これまでの活動を継続」が半々で、「積極的に拡大、推

進すべき」が1名であった。

ケ) 発災後のボランティアについては、多くの回答者が既に何らかのかたちで関わっているが、1/4 弱の回答者は未経験である。

コ) 各自の活動の可能性については、長・中期間の現地活動は全員が困難で、短期間や休日など制限付きで活動が可能な回答者が大半を占め、より厳しく制限される回答者も 1/4 程度にのぼる。

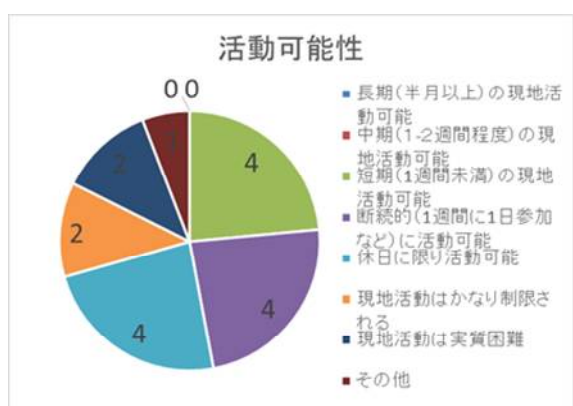
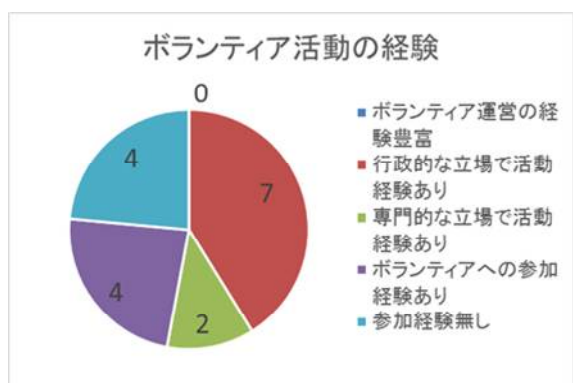
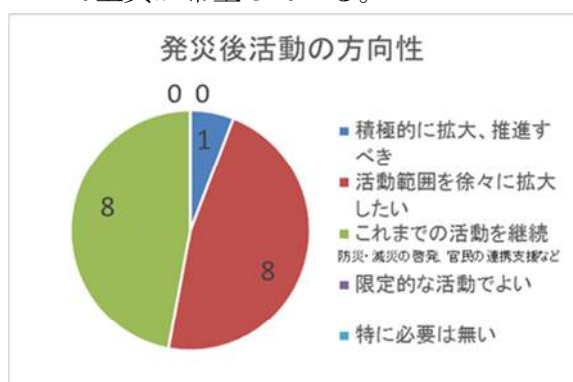
サ) メーリングリストへの登録は、1名を除いて全員が希望している。



アンケート結果は、NPO 活動のデータベースとして利用させていただきます。各個人の回答内容については、会内で保管・管理し、個人情報を守ることを保護いたします。

最後に、ご協力いただきました皆様に謝意を表しますと共に、引き続き、活動へのご協力をお願い申し上げます。

以上



<予告>
平成 29 年度定期総会及び防災講演会のご案内
2017 年 7 月 8 日

平成 29 年度総会を 7 月 8 日 (土) 午後、神戸市こうべまちづくりセンターで開催します。総会終了後に、防災講演会を開催いたします。講師は高石市長 阪口伸六氏です。『ピンチはチャンス！防災力ナンバーワンのまちづくり』と題してご講演いただきます (後述)。

また、総会議案書・年会費請求書は 1 ヶ月程度前に皆様のところへ郵送いたします。その際、メーリングリストが正しく届いているかどうかの確認もさせていただきます。

なお、今年度は、役員改選の年でもあります。平成 25 年に改正した定款では、第 13 条に役員の規定があります。

理事 3人以上 10人以下 (現行 5人)

監事 2人 (現行 2人)

です。役員になって活動したいという方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡ください。

定款

<http://toshisaigai.net/office/teikan2013.pdf>

現行役員

<http://toshisaigai.net/office/yakuin2015.htm>

第48回防災講演会

テーマ 「ピンチはチャンス！防災力ナンバーワンのまちづくり」

～高石市長 阪口 伸六氏～

**【経歴】**

昭和31年 大阪府高石市生まれ
清風南海高等学校を経て同志社大学卒業後、アパレル商社に勤務。昭和62年高石市市議会議員に初当選。平成15年高石市長に当選し、現在5期目。泉州市・町関西国際空港推進協議会会長、石油基地自治体協議会副会長を務め、平成29年5月には大阪府市長会会長に就任。高石市だけでなく泉州、大阪、関西、日本の幸せのために奮闘中。

【概要】

高石市は人口約5万8000人、面積11k㎡のコンパクトなまちであります。特に市域の約半分6k㎡は高度成長期にベッドタウンとして急速に市街化した密集した住宅地、残り5k㎡が臨海コンビナートで、石油精製プラントや液化天然ガスから都市ガスを製造し近畿一円に供給する施設、また同発電所も稼働し電力供給し、また石油化学の大手企業の西日本最大級の工場など、一大石油化学エネルギー供給基地を形成し、現在も、製造品出荷額も9700億円と、堺、大阪、東大阪、八尾市について第5位で、活発に操業しています。

そんな特徴ある都市に、あの東日本大震災以降、

惹起された南海トラフ地震津波に対する防災対策の強化という重い課題が突きつけられました。

平成15年当時は、学校耐震化も全国ワースト1と、公共施設も耐震化が遅れており、昭和40年代に建設された住宅も老朽化が進んでいました。

また、バブル崩壊、地価の下落や税制改正による市税収の激減、経常経費の膨張等により厳しい財政難に直面するなか、折りしも、当時推進されていた平成の大合併に際し、市民は住民投票で自主自立を選択し、同市は懸命に財政再建を進めており、防災対策に向ける予算の確保もままならない状況でありました。

そんな、二重苦三重苦のような状況で、阪口市長以下職員市民、企業などが一丸となって防災ナンバーワンのまちづくりを目指して、一步ずつ、しかし着実に取り組んで行ったのであります。

昨年11月に実施した第6回目の総合避難訓練では、人口の2割を超える1万2,000人以上の方々が参加されました。耐震化を完了した市内中学校では中学生自身が小型可搬式ポンプを使う訓練を行い、高台移転で旧体育館を廃止し、国の緊急防災交付金の支援を得て平成27年3月に竣工した、防災機能を有する総合体育館「カモンたかいし」では市内医療機関の医師によるトリアージを行いました。臨海部では企業が自主的に建設した津波避難タワーを活用した訓練など、地震津波を想定した本格的な訓練が行われ、また、とくに昨年はその後11月5日に、通称“ドラム缶作戦”と言われる、災害直後のBCPを想定した石油等の被災地への搬送訓練を、臨海部の石油精製企業と自衛隊の協力により実施されました。

まさにピンチはチャンス、そのものであります。「やる気になれば、出来る！」有言実行の「防災ナンバーワンのまちづくり」について、阪口市長が熱く語ります。乞うご期待！

事務局 だより

- ◆ニューズレターのバックナンバーは、ホームページ (http://toshisaigai.net/newsletter/newsletter_index.html) にアップロードしています。
- ◆ワーキンググループ活動の例会の案内は、ホームページにも掲載しますので、ご興味のある方は参加してください。
- ◆あらためてご案内いたしますが、振替用紙が届きましたら2017年度会費の納入をよろしく願いいたします。(正会員5000円です) すでに、会費を振り込まれた方は、ありがとうございました。
郵便局 00990-1-162816 加入者名 都市災害に備える技術者の会
三井住友銀行 藤原台支店 普通預金 7566003 特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会
(2年間連続で未納の場合、自動的に退会扱いとなりますのでご注意ください。)
- ◆住所変更・メールアドレス変更等はできるだけ早く事務局にお知らせください。
書式等は、ホームページ <http://toshisaigai.net/join/join.htm> にあります。
- ◆メーリングリストが届かない方は、事務局までお知らせください。またメーリングリスト不要の方は、毎月初めに届くメーリングリスト備忘録に従って登録を外してください。
- ◆研修会講師の心当たり、あるいは研修内容の希望がありましたら、事務局 (office@toshisaigai.net) までお知らせください。
- ◆ニューズレターの原稿を随時募集いたします。お気軽に事務局までお送りください。